

## 対 安 湿 原

『刈安湿原』は、乗鞍岳から宮峠、位山へとびる分水嶺上に位置する位山分水嶺公園の中にあります。標高約900m、面積約0.55haで、東向きゆるやかな斜面にあります。全体は泥炭層に覆われ、その上にミズゴケ湿原(高層湿原)が広がっています。

水路やアケツツ林、建物などに囲まれたとても小さな湿原ですが、調査の結果、絶滅のおそれがあるとして環境庁のレッドリストにあげられている種類など、貴重な植物が数多く生育していることがわかっています。また日本で最も小さなトンボ:ハッチョウトンボなど、貴重な動物もすんでいます。

一之宮町では、多様な湿原植物が自生する刈安湿原を町の財産として大切に保護するため、2000年に『刈安湿原植物群自生地』として天然記念物に指定しました。また、守るためには多くの方に湿原の自然のすばらしさを不思議さ、そして弱さなどを知っていただくことも大切だと考え、観察歩道(木道)をつくりました。四季それぞれの湿原の生きもののたちが暮らすようすを、そっとのぞいてみてください。

### お 願 い

～自然や山野草が好きな方へ～

◆湿原の中に入らないで！

1. 絶滅のおそれのある小さな生き物、あなたの一歩がふみつぶしてしまいます。
2. 刈安湿原という特殊な環境に生える植物は、他の場所ではちゃんと育ちません。

※注意 高山市教育委員会の許可なく湿原内に立ち入りたり植物を採取することは、違法行為です。

## 位山の分水嶺公園 刈安湿原 ガイドマップ

トキノウ(花期:6~7月)

ナラヅク(花期:6~7月)

ノハシヨウコウ(花期:6~7月)

コバヤクヱウ(花期:6~7月)

モウセンゴケ(花期:6~7月)



三二知識「湿原ってなあに？」  
低温、多湿の環境では、枯れた植物の泥炭は分解・分解しにくいため、黒色の泥炭(でいたん)として、徐々にたまり積ります。その泥炭地上に広がる草原が「湿原」です。

三二知識「ミズゴケ湿原(高層湿原)ってなあに？」  
泥炭地上は多湿の環境に育ち、ミズゴケ類など根が浅い環境に育まれる植物しか生えることができます。ミズゴケ類主体の「ミズゴケ湿原」となります。地下水位より高い位置でできるこのタイプの湿原は、「高層湿原」とも呼ばれます。

雪の刈安湿原から御岳山を望む。

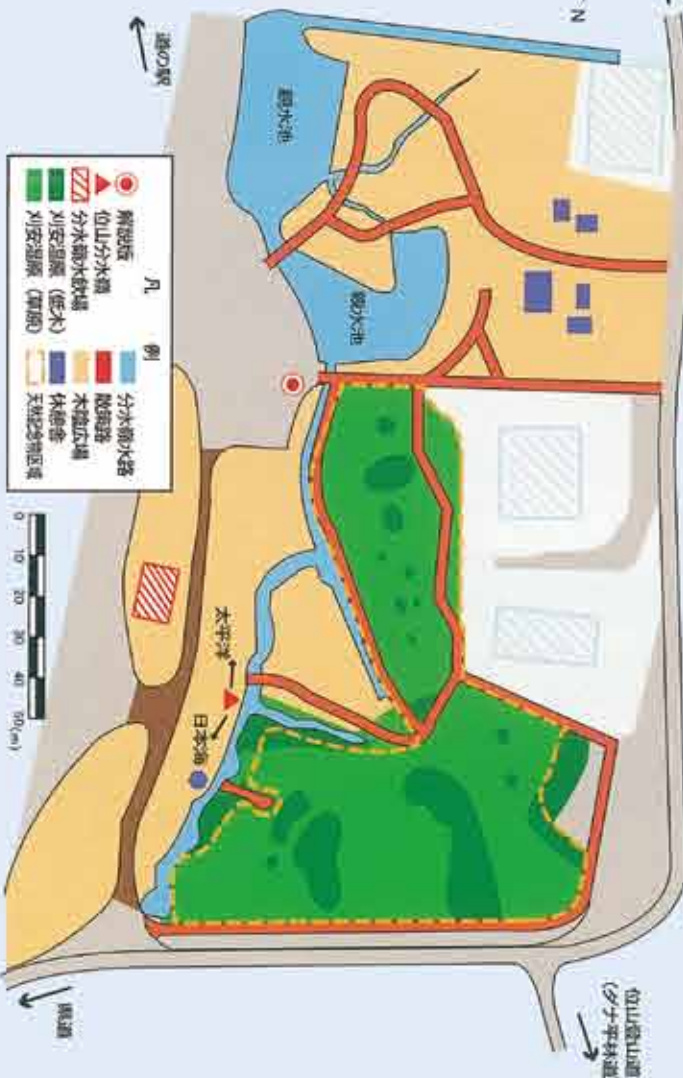


## 自然観察 “はじめの一歩”

「自然の中に行くと楽しい」「心が安らぐ」という自然好きの方に、もっと自然が好きになる「自然観察」をおススメします。  
自然観察は、生きものの名前をおぼえたり、むずかしい話を聞くことではありません。足元の小さな雑草や虫に目を向けること、どこから聞こえる小鳥の声に耳をすませること、木の肌にならぬその感触を確かめること、花の香りや木の味を楽しむこと、これらすべてが自然観察の「はじめの一歩」です。自分の持つ感覚を総動員して自然とつきあおうと、まわりの自然に親近感が湧き、いつそう生き生きと感じられるでしょう。

自然観察のポイントをいくつか紹介します。

- ①生きものごまわりの環境のつなかりをみてください。  
木と森、魚と川、お互い深く関係している生きものごまわりの環境が、どこでどのようにつながっているか注目してみよう。
- ②スケッチしてみよう。  
発音のつらさやスケッチを描くうちに、なんとなく見えていたものも、姿がたち、自然全体の中での位置・役割が発見できるはず。
- ③「どうして?」という気持ちを持ち、大切にしよう。  
「どうしてここに生えているの?」「なぜこんなカタチなの?」疑問について考え、探してみよう。自然のことをより深く知ることができよう。
- ④今だけでなく、過去・未来も考えよう。  
「この木が生まれた頃、どんな環境だったろう?」「この花、来年もまた咲くかな?」「1秒、1日、1年、移りゆく自然の姿に注目してみよう。
- ⑤人と自然のつながりに目を向けよう。  
原生林から入って、人手の入った雑木林は価値が低くなる。人が自然に手を加えることの意味、目的、影響などを考えてみよう。
- ⑥誰かと話し合ってみよう。  
自分か感動したり、「?」と思ったことについて誰かと話し合ってみよう。自然の見方・考え方を広げることができるはず。



## 高山市一之宮町

## ガイドマップ

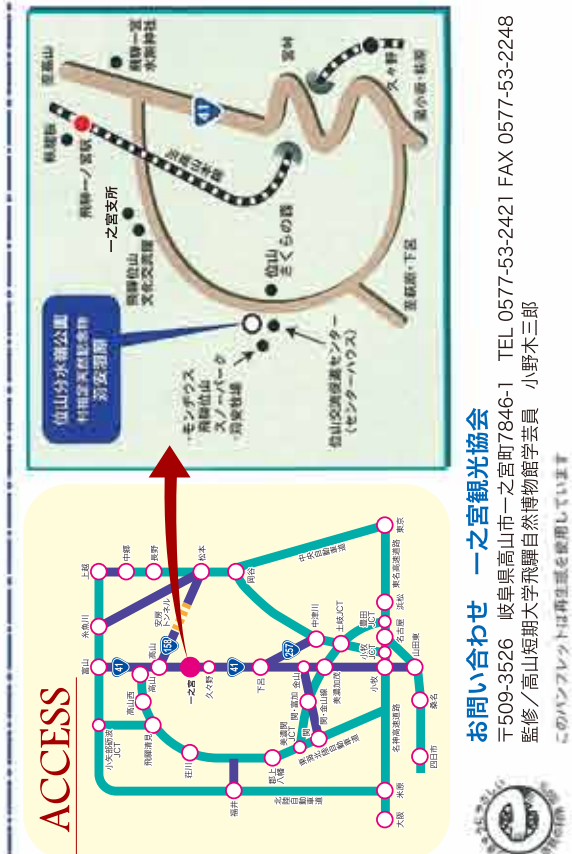
## 位山分水嶺公園 刈安湿原 天然記念物



位山のふもとにある広々としたスキーゲレンデからは、北アルプスの大パノラマ15基のリフトと5つのコースで、スキー初心者から上級者までたつぷり楽しめます。ソリ広場や無料休憩スペースなど、ファミリーにうれしい施設も充実。  
白いゲレンデは、春には緑に染がえ、広い放牧場では牛たちを見ていると心がなごみます。研修センターや交流センターは、各種の観光情報も得られます。なかにはゲレンデが一望できる展望レストラン【さくら】や喫茶コーナー、特産品販売コーナーがあります。

◆**位山登山**  
スキーゲレンデ(放牧場)のわきを通る登山道を歩くと、約3時間で位山山頂(1529m)へ。うっそうとした森と音むした巨石が、心をいやしてくれます。スキー場からダナ平林道を通り(車で30分)、終点から登るルートもあります(山頂まで約1時間)。

◆**臥龍桜自然公園 位山さくらの森**  
かつて「刈安のマツ」として知られたアカマツの美林と、雑木林、繡織花本が見所です。遊歩道(車いす対応)をたどれば、どなたでも森の恵みを感じることができます。



お問い合わせ 一之宮観光協会  
〒509-3526 岐阜県高山市一之宮町7846-1 TEL 0577-53-2421 FAX 0577-53-2248  
監督/高山短期大学附属自然博物館学芸員 小野木三郎  
このガイドマップは再版を歓迎しています

## 位山分水嶺公園

刈安峠には、ほぼ近い「位山分水嶺公園」は、長い水の旅の出発点である分水嶺の自然に親しんでいただくための場所です。分水嶺水路、運原風景歩道、あずまやが設置されています。湧き水の一方は宮川、神通川を経て日本海へ、一方は飛騨川、木曾川を経て太平洋へ…。アカマツの美林を散策しながら、あるいはベンチに腰をかけて、壮大な水の旅に想いを寄せてみましょう。

## 位山舟山県立自然公園

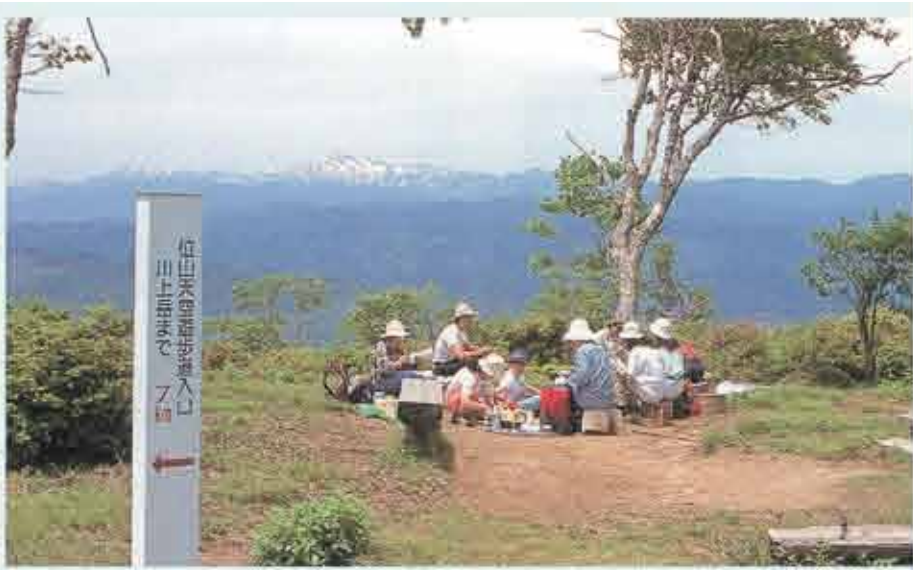
位山から舟山(船山)、川上岳にかけての山城は、源流部の山々に恵ぶく大自然とすぐれた景観が展望できる景勝地です。一之宮町から久々野町、下呂市萩原町にまたがるこの一帯2,655.2ha(うち一之宮町1,062ha)が、『位山舟山県立自然公園』に指定されました。そのうち位山山頂周辺とそこから北東にのびる尾根、また位山北麓と刈安峠周辺の221.3haは、特別地域として特に保護することとされています。







サラサドウダン群生の山頂一帯



西に白山を望んで楽しい昼食



川上岳縦走路から位山山頂 飛騨山脈を望む



花の色にも注目！白色から紅色まで！！



雪解けと共に山頂を渡るバイカオウレン ツルシキミの実 チゴユリ 山頂に近づく針葉樹の世界



アカモノ イワナシ エソズリハ コアシサイ



ツクパネソウ ツクパネソウの実 ギンリョウソウ



ツルリンドウ ツルリンドウの実 ウツギ(ウノハナ)



オオカメノキ タニウツギ



スキー場から望む御岳山



天の岩戸



黄葉が鮮やかなコシアブラ コシアブラの葉、よく見て三小葉のがタカノツメ



サラサドウダンの見事な紅葉 最も鮮やかに色づくハウチワカエデ



冬枯れ、芽吹き、新緑のころと季節を変えて何度も歩こう！



夏緑林内の名花ムラサキヤシオツツジ ヤマトツツジ



穂状に咲くウミズザクラ ホオノキの花



ミヤマガズミの実 ヤドリギの実

位山は樹木の見本園

木肌の特徴に注目！  
いつどんな花が咲くのかな？



ブナ ミズナラ シラビソ ネズコ(クロベ) ヒノキ サワラ ヒメコマツ(葉は五葉)



ブナの葉と実 左:オオシラビソ、右:シラビソ 左から右へ、アスナロ、ネズコ、ヒノキ、サワラ イチイの実

のこすのほ思い虫のみ  
とるのほ写真のみ



スキー場から見る一之宮町の田園風景